

令和2年11月5日

関係者の皆様へ

愛知県高体連バレーボール専門部
部長 杉山 賢純

令和2年度全日本高等学校バレーボール選手権愛知県予選会の観客について

令和2年度全日本高等学校バレーボール選手権愛知県予選会は代表決定戦（決勝戦）を除き、観客なしで運営していくことといたしました。3年生の最後を迎えるチームもあり、その姿を保護者の方にも見ていただけないかと様々な方法を検討してまいりましたが、残念ながら観客なしで実施することとなりました。

バレーボール専門部の方針として、県大会は公共体育館を使用し、公平公正な運営を目指しております。今大会も公共体育館を使用できることになりましたが、体育館の収容可能観客数も各会場により異なっています。県大会に出場されるチームの多くは部員数が多く、部員の入場でかなりの座席を使用することが予想されます。更には公共体育館側からも基本的な感染防止対策に加えて、座席の消毒、駐車場の適切な管理等が求められており、かなりの数の役員が必要となります。また、新型コロナ感染状況も地域により異なっており、今後の感染拡大も心配されています。以上のことを踏まえて、決勝戦を除く愛知県予選会は無観客とさせていただきます。

なお、代表決定戦は主催愛知県バレーボール協会の働きかけにより、豊田合成記念体育館「エントリオ」を借用する事となりました。代表決定戦は男女2チームのみであり、完全入れ替え制で50名までとし、観客の入場が可能となりました。この会場は観客を入れた試合をすでに実施済みですので、代表決定戦に関しましては、部員及び保護者の感染防止対策を徹底して行う体制を整えることが可能です。また、運営を愛知県バレーボール協会と連携する事により、安心して大会を運営できると判断いたしました。

応援をしたい気持ち、生徒の応援されたい気持ちは大変良くわかっているつもりでございます。今後の大会についても、観客の有無等を検討していきます。今大会につきましては、生徒の健康を守るために、感染拡大の可能性を抑え安全に大会を開催する方法について、ご理解とご協力をお願いいたします。